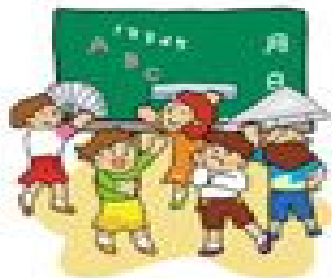


演題

教室の「困っている子」を支える手がかり

この子はどこでつまづいているのか？



講師 宮口 幸治 氏

立命館大学大学院

応用人間科学研究科教授

児童精神科医

日 時

平成28年12月3日（土）

受付 13:30～

講演会 14:00～16:30

場 所

焼津市総合福祉会館（ウェルシップやいづ）

多目的ホール

後 援 焼津市教育委員会 藤枝市教育委員会 島田市教育委員会

申込方法 下記申込用紙を FAX にて送付してください。焼津市通級指導教室親の会担当
(焼津市立小川小学校通級指導室内)

参加費 会員 無料 非会員 500円(当日、受付でお支払いください)

TEL: 054-624-3117

FAX: 054-623-5854

----- 切 り 取 り -----

12月3日(土)中部地区講演会

11月24日(木)締め切り

御 氏 名	御 所 属	○をつける
		会員 ・ 非会員
		会員 ・ 非会員
		会員 ・ 非会員
		会員 ・ 非会員

講師のプロフィール

宮口 幸治(みやぐち こうじ)氏

立命館大学大学院 応用人間科学研究科教授 児童精神科医

京都大学工学部卒業。建設コンサルタント会社勤務後、神戸大学医学部医学科卒業。神戸大学医学部附属病院精神神経科、大阪府立精神医療センターなどを経て、2009年より法務省宮川医療少年院法務技官・児童精神科医として発達障害や知的障害をもった非行少年への教育プログラムの開発やグループ運営を行ってきました。その他、幼稚園・小学校・中学校などの学校コンサルテーションにも従事。2015年、女子少年院である交野女子学院医務課長、2016年より現職。医学博士、臨床心理士、日本児童青年精神医学会認定医、日本精神神経学会専門医。

学校コンサルテーションとして幼稚園から小学校・中学校などで子どもの発達や学習の遅れ、発達障がい、粗暴行為などの相談を受ける中で、それぞれの地域性や校風、子どもたちの特性は異なるのですが、受ける相談内容には同様の問題点が重複していたり、発達の課題をもった非行少年といくつかの共通点もあったりすることに気付いたそうです。子どもを正しく知り、それに対してどんな支援をすべきかを、児童精神医学、臨床心理学、矯正教育、学校教育の立場から、問題の背景と具体的な対応策について提案してきました。講演会では「社会面」「学習面」「身体面」の3方面から、困っている子どもの理解と具体的支援についてワークも含めながらお話し頂きます。



著書

『教室の「困っている子ども」を支える7つの手がかり-この子はどこでつまづいているのか?』

(共著)明石書店, 2014

『コグトレ みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング (単著)三輪書店, 2015

『性の問題行動をもつ子どものためのワークブック

- 発達障害・知的障害のある児童・青年の理解と支援』(共著)明石書店, 2015

『不器用な子どもたちへの認知作業トレーニング』

(編著)三輪書店, 2014 他多数

焼津市総合福祉会館への交通機関

☆タクシー(約2キロ)

焼津駅北口より

☆自主運行バス(さつき)200円

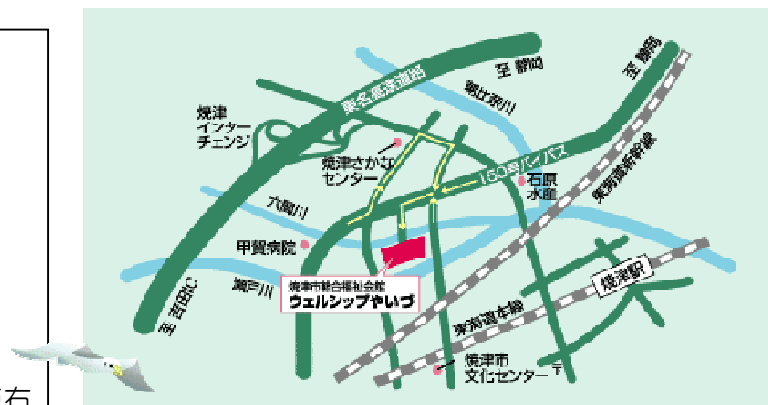
焼津駅南口 1番乗り場12:59

総合福祉会館13:07

☆車

・焼津駅北から約2km

・東名焼津 IC を下りて右折→八幡交差点右折→3つ目の交差点を過ぎた後案内表示に従って左折



焼津市総合福祉会館ウェルシップやいづ

所在地 〒425-0088 静岡県焼津市大覚寺三丁目2-2

連絡先 TEL (054)627-2111